

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ミライスクール		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～ 令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者連絡として、ご利用いただいた際には写真付きで活動内容や活動の様子を伝えている。	保護者の方のご都合に合わせていつでも内容を確認できるようにLINEアプリを活用している。また、気になることや相談等があれば、24時間いつでも受付できる体制を整えている。	LINEでの連絡の他、送迎時やお迎え時に当日の様子を口頭で伝える等、各ご家庭からのニーズに合わせて連絡体制を検討・整えていく。
2	HPやSNSの活用を積極的に行い、事業内容・イベント案内等を施設内外問わず幅広く周知活動を行っている。	各事業内容を発信することで、事業内容を知ってもらうことや興味を持ってもらえるよう努めている。また、事業内容を知ってもらうことで、新規利用児の受け入れやボランティア参加へと繋げることも目的として行っている。	各事業ごとの特色や活動の狙いなどが把握しやすいような発信を行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容の固定化を防ぎ、児童にとって変化や楽しみに繋がる活動の検討・設定を行う。	活動の流れや内容の統一化を図り安心感へと繋げる目的の一方で、活動内容の固定化や児童の興味関心の薄れに繋がりがやすい。	児童に合わせて情報保障を行うことで活動の見通しを持ち安心感へと繋げ、活動内容の変化や興味関心を持ちやすい活動設定等を行うことで、児童の興味関心や楽しみを拡げていく。
2	日常的な相談がしにくい状況である。	相談ツールとしてLINEを活用しているが、ご家庭によってLINEを活用した相談状況には差がある。定期面談や送迎を行っているが保護者の方と会う機会が少ないご家庭もあり、ご家庭によっては職員の顔が見えずらさがある。	定期面談以外でも保護者会や勉強会などを設け、保護者が職員と直接会うことができる機会を増やす。また、引き続き相談受付としてLINEを活用しつつ、LINE活用してもよいことを各ご家庭に周知していく。
3			